

(2) 事業内容

【対象経費】

- ①新たな医療通訳の雇用に係る人件費（試用期間を含む。）
- ②医療通訳サービス等の導入に係る経費
- ③多言語対応ツール（タブレット、ポケトーク、会話集、指差しツール等）の導入に係る経費

【補助対象者】

病院、外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関となっている診療所

【補助率等】

- 補助率：1 / 2
- 補助基準額：①は、100 千円（1 人当たり月額）
②は、1,200 千円（1 医療機関当たり）
③は、400 千円（1 医療機関当たり）

(3) 県負担・補助率の考え方

外国人患者の受入環境整備に対する補助は、医療機関における負担を求め、補助率 1/2 とする。実施期間は最長 3 年までとする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,400	①600 千円（50 千円×1 病院） ②1,200 千円（600 千円×2 病院） ③600 千円（200 千円×3 病院）
合計	2,400	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり (2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	外国人患者受入環境整備事業費補助金
補助事業者（団体）	病院、診療所 (理由) 外国人患者受入機関である。
補助事業の概要	(目的) 外国人患者の受入環境を整備する。 (内容) 医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入及び多言語対応ツールの導入に対する補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 補助率 1/2 (理由) 医療機関における負担を求める。
補助効果	外国人患者の受入環境整備によって、全ての住民が安心して医療サービスを受けられる環境整備が図れる。
終期の設定	終期 令和 5 年度 (理由) 創生総合戦略終期のため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>医療通訳の雇用等、外国人患者の受入環境整備によって、円滑な診療及びコミュニケーションを促進し、全ての住民に安心・安全な医療提供体制を整備する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
① 補助金を交付した 病院数		5	4	6	5	100%
②						%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	1,518 千円	924 千円	714 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 外国人患者の受入環境を整備するため、医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入に対する補助を実施。 外国人患者の受入環境の充実及び病院内の勤務環境の改善。
	指標① 目標：4 実績：4 達成率：100%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	医療現場におけるコミュニケーション不足は円滑な診療を妨げるが、医療機関にとって日本語の理解が不十分な患者は少数であり、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい状況であることから、県による支援が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 3	新たに医療通訳の雇用や医療通訳サービスの導入をする病院があり有効
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	医療機関における、単独での医療通訳の雇用等が行われにくい状況であるため効率的。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業終了後の継続的な雇用等

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ニーズ調査で要望の高かった多言語対応ツール (会話集、指差しツール、アプリ等) の導入に係る経費を補助対象として新たに追加。
